

様式第 1 - 6

石 聴 生 第 号
平 成 2 7 年 6 月 日

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 石狩市地域公共交通会議
住 所 石狩市花川北 6 条 1 丁目 3 0 番地 2
代 表 者 氏 名 石 狩 市 長 田 岡 克 介 印

地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書

地域内フィーダー系統確保維持計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

平成28年度石狩市生活交通確保維持改善計画

(策定年月日) 平成27年6月18日
(協議会名称) 石狩市地域公共交通会議
(代表者) 会長 新岡 研一郎

1. 地域公共交通確保維持改善事業に係る目的・必要性

石狩市浜益区内を運行する公共交通の利用者は、区内の人口減少などにより、減少の一途を辿っている。なかでも中央バス札幌浜益線は、浜益区の区間が不採算路線となっており、運行を継続することが困難な状況となっている。

また、石狩市全体の高齢化率は23.1%(平成22年時点)であるのに対し、浜益区の高齢化は49.4%(平成22年時点)と高齢化が著しく進行している様子が見受けられ、高齢社会における地域住民の生活交通の確保が重要である。

このようなことから、事業採算性を意識しながら高齢者等の交通弱者の「生活の足」を確保するための、利便性が高く、将来に亘って持続可能な公共交通体系を構築する必要がある。

そのため、石狩市浜益区における高齢社会や住民ニーズに即し、かつバス交通に関する財政負担の軽減のため、浜益区内全域を網羅するとともに、幹線バス(中央バス・沿岸バス)との接続を目的とした、持続可能なバス交通体系を導入し、区民の生活利便性の向上を図ることを基本方針とする。

2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果

(1)事業の目標

地域公共交通確保維持改善事業の実施に当たり、以下の目標を設定する。

【目標】浜益区予約運行型の年間利用者数

平成28年度(H28.4～H28.9の6ヶ月間)	浜益区予約運行型	3,019人
平成29年度(H28.10～H29.9)	浜益区予約運行型	5,990人
平成30年度(H29.10～H30.9)	浜益区予約運行型	5,965人

(2)事業の効果

・石狩市浜益区における公共交通を維持することにより、高齢者等の交通弱者の買い物・通院等の生活に係る移動を確保することができる。

・地域間幹線系統との接続により、広域的な移動を支援することができる。

3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(表1)

別紙表1のとおり。

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(表2)

別紙表2のとおり。

5. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

石狩市(市町村自家用有償旅客運送事業者)

6. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定手法

該当なし。

7. 別表1及び別表3の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要(表3)
該当なし。
8. 別表1及び別表3の補助事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧(表4)
該当なし。
9. 地域公共交通確保維持事業を行う地域の概要(表5)
別紙表5のとおり。
10. 車両の取得に係る目的・必要性
該当なし。
11. 車両の取得に係る定量的な目標・効果
該当なし。
12. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額(表6及び表7又は表8及び表9)
該当なし。
13. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画(車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策)
該当なし。
14. 協議会の開催状況と主な議論
<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年12月9日(火)平成26年度第2回石狩市地域公共交通会議 石狩市地域公共交通調査事業(中間報告)について (石狩市浜益区生活交通ネットワーク計画策定に向けた全体像、石狩市浜益区バス交通の利用実態調査結果、石狩市浜益区のバス交通に関するアンケート調査結果、石狩市浜益区バス交通の方向性、全体スケジュールについて) ・平成27年2月26日(木)平成26年度第3回石狩市地域公共交通会議 浜益区生活交通ネットワークについて(石狩市浜益区生活交通ネットワーク計画素案) 石狩市浜益区スクールバスの運行経路及び運行時間の変更について ・平成27年6月18日(木)平成27年度第1回石狩市地域公共交通会議 石狩市生活交通確保維持改善計画の提出について 一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更(中央バス札幌浜益線の廃止)について

15. 利用者等の意見の反映状況

- ・石狩市浜益区民を対象にバス交通に関するアンケート調査を実施した。
- ・地域公共交通会議には各種団体の他、浜益区民から利用者及び住民を代表する委員に参加いただき、会議での議論を反映して計画を作成した。
- ・浜益区地域協議会において、計画案を説明し、意見を伺った。
- ・平成27年5月21日～6月10日に地区別説明会(9回・10地域)を開催し、区民の意見を伺った。
- ・上記以外の4地域については、説明会資料に意見提出用紙を添え全戸配布し、意見を伺った。

16. 協議会メンバーの構成

関係都道府県	北海道石狩振興局地域政策部地域政策課長
関係市区町村	石狩市環境市民部長
交通事業者・交通施設管理者等	北海道中央バス株式会社石狩市営業所所長
地方運輸局 北海道運輸局札幌運輸支局	首席運輸企画専門官
その他協議会が必要と認める者	厚田区自治連合会代表、浜益自治会連合会代表、 社団法人北海道バス協会専務理事、 北海道地方交通運輸産業労働組合協議会副議長、 一般公募2名

担当者連絡先

(住所) 石狩市花川北6条1丁目30番地2

(所属) 石狩市環境市民部広聴・市民生活課

(氏名) 吉田 雅人

(電話) 0133-72-3191

(e-mail) seikatsu@city.ishikari.hokkaido.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者（地域内ファイダー系統）

平成28年度										
都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業 に要する国庫 補助額 (千円)	国庫補助金内 定申請額 (千円)	再 編 特 例 措 置	地域内ファイダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			基準二で 該当する要件 (別表7のみ)	
						乗合バス型/ デマンド型の別	基準口で 該当する要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 と接続確保策		
石狩市	石狩市	(1)北方面	155.0千円	1,072.0千円		デマンド型	①	北海道中央バス(株)厚田 線厚田支所停留所に接 続	①	
		(2)南方面	121.5千円			デマンド型	①		①	
		(3)東方面	71.5千円			デマンド型	①		①	
		(4)厚田方面	724.5千円			デマンド型	①		①	
合 計										

国庫補助金内定申請額(千円)(合計と国庫補助上限額を比べて少ない額)	1,072千円
国庫補助上限額(千円)	6,019千円

1. 「確保維持事業に要する国庫補助額(千円)」は表2における「補助対象系統の1/2」を小数点第1位(百円単位)まで記載する。
2. 「国庫補助額内定申請額(千円)」には、各運行予定者毎でまとめて表2における「国庫補助金内定申請額」を記載する。
3. 「再編特例措置」には、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内ファイダー系統に係る特例措置の適用を受ける場合のみ、「○」を記載する。
4. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」には、地域内ファイダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークのように接続を確保するかについて記載する。
5. 本表に記載する運行予定系統を示した地図を添付すること。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内ファイダー系統)

平成29年度											
都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業 に要する国庫 補助額 (千円)	国庫補助金内 定申請額 (千円)	再 編 特 例 措 置	地域内ファイダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			平成29年度		
						乗合バス型/ デマンド型の別	基準口で 該当する要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 と接続確保策			
石狩市	石狩市	(1)北方面	313.5千円	2,113.0千円		デマンド型	①	北海道中央バス(株)厚田 線厚田支所停留所に接 続	①		
			238.5千円			デマンド型	①		①		
			121.0千円			デマンド型	①		①		
			1,440.5千円			デマンド型	①		①		
合 計											
国庫補助金内定申請額(千円)(合計と国庫補助上限額を比べて少ない額)				2,113千円						国庫補助 上限額 (千円)	6,019千円

1. 「確保維持事業に要する国庫補助額(千円)」は表2における「補助対象系統の1/2」を小数点第1位(百円単位)まで記載する。

2. 「国庫補助額内定申請額(千円)」には、各運行予定者毎でまとめて表2における「国庫補助金内定申請額」を記載する。

3. 「再編特例措置」には、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内ファイダー系統に係る特例措置の適用を受ける場合のみ、「○」を記載する。

4. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」には、地域内ファイダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークのように接続を確保するかにて記載する。

5. 本表に記載する運行予定系統を示した地図を添付すること。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者（地域内ファイダー系統）

平成30年度									
都道府県 (市区町村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業 に要する国庫 補助額 (千円)	国庫補助金内 定申請額 (千円)	再 編 特 例 措 置	地域内ファイダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			基準二で 該当する要件 (別表7のみ)
						乗合バス型/ デマンド型の別	基準口で 該当する要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 と接続確保策	
石狩市	石狩市	(1)北方面	310.0千円	2,129.0千円		デマンド型	①	北海道中央バス(株)厚田 線厚田支所停留所に接 続	①
		(2)南方面	238.5千円			デマンド型	①		①
		(3)東方面	145.0千円			デマンド型	①		①
		(4)厚田方面	1,435.5千円			デマンド型	①		①
合 計				2,129千円					
国庫補助金内定申請額(千円)(合計と国庫補助上限額を比べて少ない額)				2,129千円					国庫補助 上限額 (千円) 6,019千円

1. 「確保維持事業に要する国庫補助額(千円)」は表2における「補助対象系統の1/2」を小数点第1位(百円単位)まで記載する。

2. 「国庫補助額内定申請額(千円)」には、各運行予定者毎でまとめて表2における「国庫補助金内定申請額」を記載する。

3. 「再編特例措置」には、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内ファイダー系統に係る特例措置の適用を受ける場合のみ、「○」を記載する。

4. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」には、地域内ファイダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークのように接続を確保するかにて記載する。

5. 本表に記載する運行予定系統を示した地図を添付すること。

浜益予約運行型 路線系統図

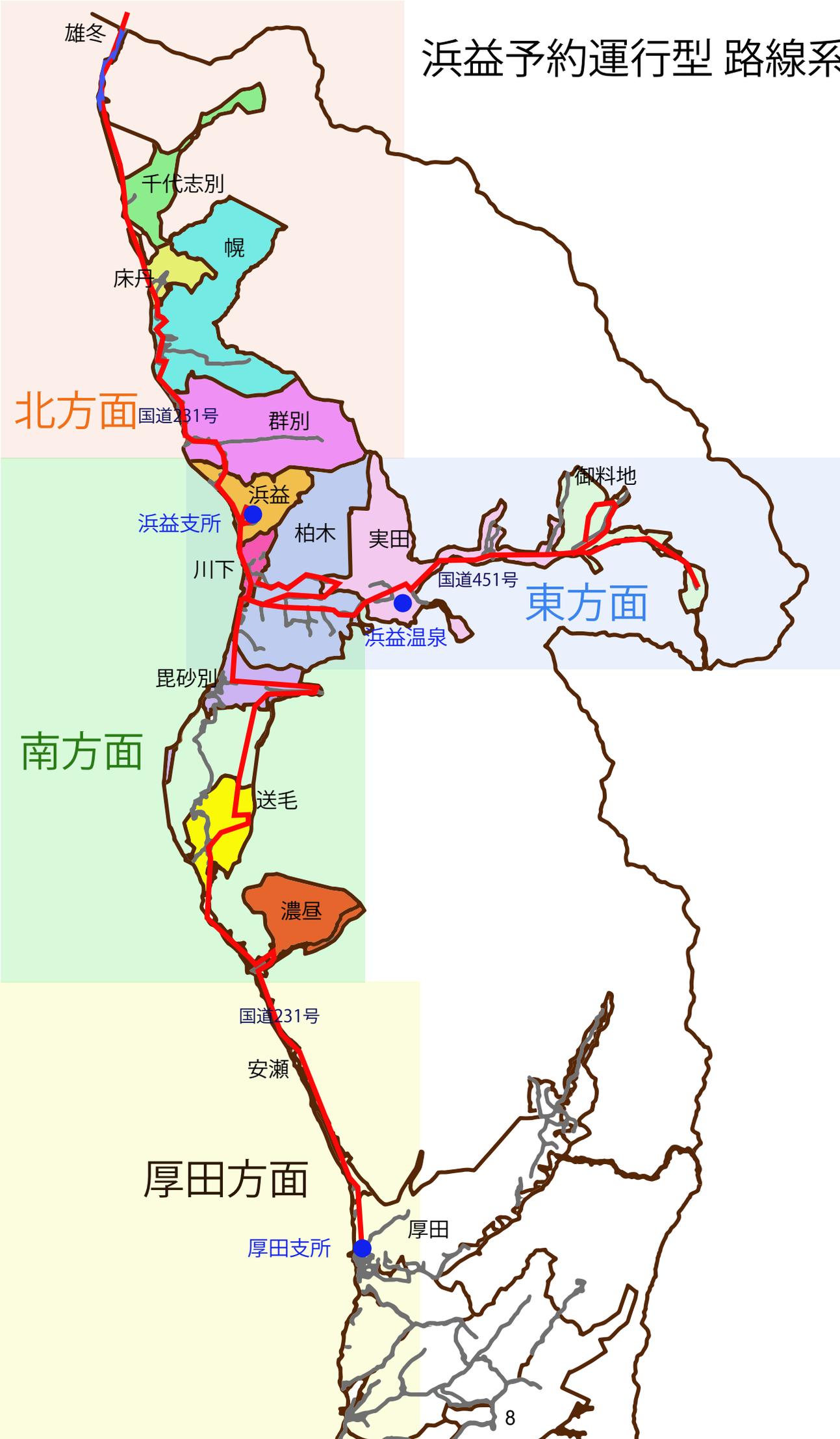


表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域内フィーダー系統【デマンド型(区域)運行】用)

事業者名	石狩市
------	-----

平成28年度

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度の 損益状況	乗合バス事業・自家用有償旅客運送					
	営業収益	2,900 千円	営業外収益	千円	経常収益(イ)	2,900 千円
	営業費用	9,162 千円	営業外費用	千円	経常費用(ロ)	9,162 千円
営業損益	△ 6,262 千円	営業外損益	千円	経常損益	△ 6,262 千円	
補助対象期間の 前々年度の 保有車両数 (ハ)	1 台	補助対象期間の 前々年度の 1台当たりサービス 提供時間(ニ)	2,458.3 時間	経常収支率	31.65 %	

2. 時間当たり補助対象経常費用及び収益

補助ブロック名	補助対象事業者の 時間当たり経常費用 ロ÷ハ÷ニ=ホ	地域時間当たり 標準経常費用 へ	時間当たり経常費用 ホとへのいずれか少ない額 ト	時間当たり経常収益 イ÷ハ÷ニ=チ
南北海道	3,726 円 .96 銭	2,909 円 .84 銭	2,909 円 .84 銭	1,179 円 .67 銭
	円 . 銭	円 . 銭	円 . 銭	円 . 銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

補助ブ ロック 名	申請 番号	運行 系統名	運行系統			計画運行 日数	計画運行回数	1回当たりサー ビス提供時間 リ	リのうち補助ブ ロック外乗入部 分に係るサー ビス提供時間 ヌ	リのうち同一補 助ブロック市区 町村外乗入部 分に係るサー ビス提供時間 ル	補助ブロック外乗 入れ部分及び同 一補助ブロック 市区町村外乗 入れ部分以外の サービス提供時 間の比率 (リ-(ヌ+ル)) ÷リ=ワ	計画サービ ス提供時間 ヅ
			発地	営業 区域	着地							
南北海道	1	北方面	浜益温泉	浜益区	厚田支所	47 日	41.0 回	4.3 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	179.2 時間
南北海道	2	南方面	浜益温泉	浜益区	厚田支所	51 日	39.0 回	3.6 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	141.0 時間
南北海道	3	東方面	浜益	浜益区	厚田支所	25 日	17.0 回	4.8 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	83.1 時間
南北海道	4	厚田方面	雄冬	浜益区	厚田支所	123 日	193.5 回	4.3 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	837.7 時間
						日	回	時間	時間	時間	%	時間
						日	回	時間	時間	時間	%	時間
合 計		4 系統						17.0 時間	0.0 時間	0.0 時間		1,241.0 時間

補助ブ ロック 名	申請 番号	補助対象 経常費用 の見込額 ト×ワ以下の額:カ	経常収益の 見込額 チ×ワ以上の額:ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した額 カーヨ=タ	タのうち補助ブ ロック外乗入部分 及び同一補助ブ ロック市区町村 外乗入部分以外 に係るもの タ×ラ=ツ	補助対象経費 ネ	補助対象経費の 1/2 ネ×1/2=ナ	国庫補助 上限額 ラ	国庫補助金 内定申請額 (ナ又はラのうち いずれか少ないほう の額) ム
南北海道	1	521,443円	211,397円	310,046円	310,046円	310 千円	155.0 千円		
南北海道	2	410,287円	166,334円	243,953円	243,953円	243 千円	121.5 千円		
南北海道	3	241,807円	98,031円	143,776円	143,776円	143 千円	71.5 千円		
南北海道	4	2,437,572円	988,210円	1,449,362円	1,449,362円	1,449 千円	724.5 千円		
		円	円	円		千円	千円		
		円	円	円		千円	千円		
合 計		3,611,109円	1,463,972円	2,147,137円	2,147,137円	2,145 千円	1,072 千円	6,019 千円	1,072 千円

補助ブロック名	申請番号	経常費用から経常収益を控除した額 ホ×ワ-ヨ=ウ	損失額から国庫補助額を控除した額 ウ-ム=ノ	ノの負担者とその負担割合										
				都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要		
				負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合			
北海道	1	456,474円												
北海道	2	359,167円												
北海道	3	211,679円												
北海道	4	2,133,864円												
		円												
		円												
合計		3,161,184円	2,089,184円	円	%	2,089,184円	100.0%	円	%	円	%			

(1) 記載要領

- 「補助ブロック名」の欄は、補助金交付要綱別表6(附則第3条の適用を受ける事業者にあつては別表28)の名称を記載すること。
- 乗合バス事業の収益、サービス提供時間については、高速バス及び定期観光バス等を除き、費用については、高速バス及び定期観光バス並びに補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)における補助金交付要綱第2編第1章第3節及び第5節に係る経常費用を除くこと。
- 補助対象事業者の決算期間が補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)と相違している事業者にあつては、補助対象期間の仮決算を行い、その損益状況を損益状況欄に記載すること。
- 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)中の乗合バス(自家用有償運送)事業と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分は、原則として昭和52年5月17日付け自総第338号、自旅第151号、自貨第55号によること。
- 補助対象期間の前々年度の保有車両台数の欄は、事業者が保有する車両数でなく、生活交通確保維持改善計画に記載された運行系統を運行するにあつて必要な車両台数を記載すること。
- 申請番号は、系統ごとに一連番号とすること。なお、1系統が2つ以上の補助ブロックにまたがる場合は、その比率に応じ低い方をカッコ書きの番号とすること。
- 地域時間当たり標準経常費用は、補助ブロックを管轄する地方運輸局等が通知した数値によること。
- 計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。
- 「1回当たりサービス提供時間」(リ欄)については、【(1回あたり平均運行時間)+(1日あたり平均待機時間/1日あたり運行回数)】により算出すること。
- 「1回当たりサービス提供時間」、「補助ブロック外乗入部分に係るサービス提供時間」及び「市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。また、合計の欄については、各申請系統のサービス提供時間の合計を記載すること。
- 「同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」の欄は、同一補助ブロック内における市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間を記載することとし、補助ブロックが異なる市区町村外乗入部分は(ヌ)に記載すること。
- 「補助ブロック外乗入部分及び市区町村外乗入部分以外のサービス提供時間の比率(ワ)」については、%以下第3位(小数点第4位切り捨て)まで算出して記載すること。
- 「計画サービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 「補助対象経費」の欄は、(ツ)の金額を記載する(千円未満の端数は切り捨てること)。
- 「補助対象経費の1/2」の欄は、系統ごとに百円単位(0.1~0.9千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 「国庫補助上限額」の欄は、市区町村等が当該市区町村等に係る国庫補助上限額のうち、各事業者ごとに配分した額を記載すること。
- 「補助対象期間の前々年度の損益状況」の欄は、消費税相当額を控除した額を記載すること。
- サービス提供時間とは、事業開始時間(運行開始時間)から事業終了時間(運行終了時間)までの間をいい、その間の待機時間、回送時間、予約受付にかかる時間についても含める。なお、サービス提供時間外に行われる予約受付等については、補助対象外とする。
- 待機時間とは、サービス提供時間のうち、実運行しなかった時間をいう。但し、休憩時間及びその他事業に従事している時間は含めない。
- 回送時間について、乗客が降車した後、帰庫する際の回送運行は実運行時間として差し支えない。なお、回送運行中(帰庫途中)に乗用事業による配車指示があり乗用事業の運行を行った場合は、当該回送運行は実運行時間とは認められない。
- 複数系統を運行する車両(1台で3系統運行等)の待機時間については、明確に待機時間を算出することは困難である場合は、原則として、系統毎の計画サービス提供時間(ワ欄)を系統数の合計値で除す若しくは系統毎の運行回数に応じた算出方法により算出されたい。

(2) 添付書類

- 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の前々年度に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」(補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除く)及びこれに関連する必要な事項を記載した書類

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域内フィーダー系統【デマンド型(区域)運行】用)

事業者名	石狩市
------	-----

平成29年度

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の 前々年度の 損益状況	乗合バス事業・自家用有償旅客運送					
	営業収益	2,900 千円	営業外収益	千円	経常収益(イ)	2,900 千円
	営業費用	9,162 千円	営業外費用	千円	経常費用(ロ)	9,162 千円
営業損益	△ 6,262 千円	営業外損益	千円	経常損益	△ 6,262 千円	
補助対象期間の 前々年度の 保有車両数 (ハ)	1 台	補助対象期間の 前々年度の 1台当たりサービス 提供時間(ニ)	2,458.3 時間	経常収支率	31.65 %	

2. 時間当たり補助対象経常費用及び収益

補助ブロック名	補助対象事業者の 時間当たり経常費用 ロ÷ハ÷ニ=ホ	地域時間当たり 標準経常費用 へ	時間当たり経常費用 ホとへのいずれか少ない額 ト	時間当たり経常収益 イ÷ハ÷ニ=チ
南北海道	3,726 円 .96 銭	2,909 円 .84 銭	2,909 円 .84 銭	1,179 円 .67 銭
	円 . 銭	円 . 銭	円 . 銭	円 . 銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

補助ブ ロック 名	申請 番号	運行 系統名	運行系統			計画運行 日数	計画運行回数	1回当たりサー ビス提供時間 リ	リのうち補助ブ ロック外乗入部 分に係るサー ビス提供時間 ヌ	リのうち同一補 助ブロック市区 町村外乗入部 分に係るサー ビス提供時間 ル	補助ブロック外乗 入れ部分及び同 一補助ブロック 市区町村外乗 入れ部分以外の サービス提供時 間の比率 (リ-(ヌ+ル)) ÷リ=ワ	計画サービ ス提供時間 ウ
			発地	営業 区域	着地							
南北海道	1	北方面	浜益温泉	浜益区	厚田支所	95 日	83.0 回	4.3 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	362.6 時間
南北海道	2	南方面	浜益温泉	浜益区	厚田支所	100 日	76.0 回	3.6 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	276.0 時間
南北海道	3	東方面	浜益	浜益区	厚田支所	50 日	36.0 回	3.8 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	140.0 時間
南北海道	4	厚田方面	雄冬	浜益区	厚田支所	245 日	385.5 回	4.3 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	1,665.4 時間
						日	回	時間	時間	時間	%	時間
						日	回	時間	時間	時間	%	時間
合 計		4 系統						16.0 時間	0.0 時間	0.0 時間		2,444.0 時間

補助ブ ロック 名	申請 番号	補助対象 経常費用 の見込額 ト×ワ以下の額:カ	経常収益の 見込額 チ×ワ以上の額:ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した額 カーヨ=タ	タのうち補助ブ ロック外乗入部分 及び同一補助ブ ロック市区町村 外乗入部分以外 に係るもの タ×ラ=ツ	補助対象経費 ネ	補助対象経費の 1/2 ネ×1/2=ナ	国庫補助 上限額 ラ	国庫補助金 内定申請額 (ナ又はラのうち いずれか少ないほう の額) ム
南北海道	1	1,055,107円	427,749円	627,358円	627,358円	627 千円	313.5 千円		
南北海道	2	803,115円	325,589円	477,526円	477,526円	477 千円	238.5 千円		
南北海道	3	407,377円	165,154円	242,223円	242,223円	242 千円	121.0 千円		
南北海道	4	4,846,047円	1,964,623円	2,881,424円	2,881,424円	2,881 千円	1,440.5 千円		
		円	円	円		千円	千円		
		円	円	円		千円	千円		
合 計		7,111,646円	2,883,115円	4,228,531円	4,228,531円	4,227 千円	2,113 千円	6,019 千円	2,113 千円

補助ブロック名	申請番号	経常費用から経常収益を控除した額 ホ×ワ-ヨ=ウ	損失額から国庫補助額を控除した額 ウ-ム=ノ	ノの負担者とその負担割合																
				都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の 具体的概要								
				負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合									
北海道	1	923,646円																		
北海道	2	703,051円																		
北海道	3	356,620円																		
北海道	4	4,242,256円																		
		円																		
		円																		
合計		6,225,573円	4,112,573円	円	%	4,112,573円	100.0%	円	%	円	%									

(1) 記載要領

- 「補助ブロック名」の欄は、補助金交付要綱別表6(附則第3条の適用を受ける事業者にあつては別表28)の名称を記載すること。
- 乗合バス事業の収益、サービス提供時間については、高速バス及び定期観光バス等を除き、費用については、高速バス及び定期観光バス並びに補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)における補助金交付要綱第2編第1章第3節及び第5節に係る経常費用を除くこと。
- 補助対象事業者の決算期間が補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)と相違している事業者にあつては、補助対象期間の仮決算を行い、その損益状況を損益状況欄に記載すること。
- 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)中の乗合バス(自家用有償運送)事業と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分は、原則として昭和52年5月17日付け自総第338号、自旅第151号、自貨第55号によること。
- 補助対象期間の前々年度の保有車両台数の欄は、事業者が保有する車両数でなく、生活交通確保維持改善計画に記載された運行系統を運行するにあつて必要な車両台数を記載すること。
- 申請番号は、系統ごとに一連番号とすること。なお、1系統が2つ以上の補助ブロックにまたがる場合は、その比率に応じ低い方をカッコ書きの番号とすること。
- 地域時間当たり標準経常費用は、補助ブロックを管轄する地方運輸局等が通知した数値によること。
- 計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。
- 「1回当たりサービス提供時間」(リ欄)については、【(1回あたり平均運行時間)+(1日あたり平均待機時間/1日あたり運行回数)】により算出すること。
- 「1回当たりサービス提供時間」、「補助ブロック外乗入部分に係るサービス提供時間」及び「市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。また、合計の欄については、各申請系統のサービス提供時間の合計を記載すること。
- 「同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」の欄は、同一補助ブロック内における市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間を記載することとし、補助ブロックが異なる市区町村外乗入部分は(ヌ)に記載すること。
- 「補助ブロック外乗入部分及び市区町村外乗入部分以外のサービス提供時間の比率(フ)」については、%以下第3位(小数点第4位切り捨て)まで算出して記載すること。
- 「計画サービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 「補助対象経費」の欄は、(ツ)の金額を記載する(千円未満の端数は切り捨てること)。
- 「補助対象経費の1/2」の欄は、系統ごとに百円単位(0.1~0.9千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 「国庫補助上限額」の欄は、市区町村等が当該市区町村等に係る国庫補助上限額のうち、各事業者ごとに配分した額を記載すること。
- 「補助対象期間の前々年度の損益状況」の欄は、消費税相当額を控除した額を記載すること。
- サービス提供時間とは、事業開始時間(運行開始時間)から事業終了時間(運行終了時間)までの間をいい、その間の待機時間、回送時間、予約受付にかかる時間についても含める。なお、サービス提供時間外に行われる予約受付等については、補助対象外とする。
- 待機時間とは、サービス提供時間のうち、実運行しなかった時間をいう。但し、休憩時間及びその他事業に従事している時間は含めない。
- 回送時間について、乗客が降車した後、帰庫する際の回送運行は実運行時間として差し支えない。なお、回送運行中(帰庫途中)に乗用事業による配車指示があり乗用事業の運行を行った場合は、当該回送運行は実運行時間とは認められない。
- 複数系統を運行する車両(1台で3系統運行等)の待機時間については、明確に待機時間を算出することは困難である場合は、原則として、系統毎の計画サービス提供時間(ワ欄)を系統数の合計値で除す若しくは系統毎の運行回数に応じた算出方法により算出されたい。

(2) 添付書類

- 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の前々年度に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」(補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除く)及びこれに関連する必要な事項を記載した書類

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額(地域内フィーダー系統【デマンド型(区域)運行】用)

事業者名	石狩市
------	-----

平成30年度

1. 申請事業者の概要

補助対象期間の前々年度の損益状況	乗合バス事業・自家用有償旅客運送					
	営業収益	2,900 千円	営業外収益	千円	経常収益(イ)	2,900 千円
	営業費用	9,162 千円	営業外費用	千円	経常費用(ロ)	9,162 千円
営業損益	△ 6,262 千円	営業外損益	千円	経常損益	△ 6,262 千円	
補助対象期間の前々年度の保有車両数(ハ)	1 台	補助対象期間の前々年度の1台当たりサービス提供時間(ニ)	2,458.3 時間	経常収支率	31.65 %	

2. 時間当たり補助対象経常費用及び収益

補助ブロック名	補助対象事業者の時間当たり経常費用 ロ÷ハ÷ニ=ホ	地域時間当たり標準経常費用 へ	時間当たり経常費用 ホとへのいずれか少ない額 ト	時間当たり経常収益 イ÷ハ÷ニ=チ
南北海道	3,726 円 .96 銭	2,909 円 .84 銭	2,909 円 .84 銭	1,179 円 .67 銭
	円 . 銭	円 . 銭	円 . 銭	円 . 銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

補助ブロック名	申請番号	運行系統名	運行系統			計画運行日数	計画運行回数	1回当たりサービス提供時間 リ	リのうち補助ブロック外乗入部分に係るサービス提供時間 ヌ	リのうち同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間 ル	補助ブロック外乗入れ部分及び同一補助ブロック市区町村外乗入れ部分以外のサービス提供時間の比率 (リ-(ヌ+ル))÷リ=ワ	計画サービス提供時間 ウ
			発地	営業区域	着地							
南北海道	1	北方面	浜益温泉	浜益区	厚田支所	94 日	82.0 回	4.3 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	358.5 時間
南北海道	2	南方面	浜益温泉	浜益区	厚田支所	100 日	76.0 回	3.6 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	276.0 時間
南北海道	3	東方面	浜益	浜益区	厚田支所	50 日	35.0 回	4.8 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	168.0 時間
南北海道	4	厚田方面	雄冬	浜益区	厚田支所	244 日	384.0 回	4.3 時間	0.0 時間	0.0 時間	100.000 %	1,659.7 時間
						日	回	時間	時間	時間	%	時間
						日	回	時間	時間	時間	%	時間
合計		4 系統						17.0 時間	0.0 時間	0.0 時間		2,462.2 時間

補助ブロック名	申請番号	補助対象経常費用の見込額 ト×ワ以下の額:カ	経常収益の見込額 チ×ワ以上の額:ヨ	補助対象経常費用から経常収益を控除した額 カーヨ=タ	タのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック市区町村外乗入部分以外に係るもの タ×ワ=ツ	補助対象経費 ネ	補助対象経費の1/2 ネ×1/2=ナ	国庫補助上限額 ラ	国庫補助金内定申請額(ナ又はラのうちのいずれか少ないほうの額) ム
南北海道	1	1,043,177円	422,912円	620,265円	620,265円	620 千円	310.0 千円		
南北海道	2	803,115円	325,589円	477,526円	477,526円	477 千円	238.5 千円		
南北海道	3	488,853円	198,185円	290,668円	290,668円	290 千円	145.0 千円		
南北海道	4	4,829,461円	1,957,899円	2,871,562円	2,871,562円	2,871 千円	1,435.5 千円		
		円	円	円		千円	千円		
		円	円	円		千円	千円		
合計		7,164,606円	2,904,585円	4,260,021円	4,260,021円	4,258 千円	2,129 千円	6,019 千円	2,129 千円

補助ブロック名	申請番号	経常費用から経常収益を控除した額 ホ×ワ-ヨ=ウ	損失額から国庫補助額を控除した額 ウ-ム=ノ	ノの負担者とその負担割合								「その他の者」の 具体的概要		
				都道府県		市区町村		その他の者		事業者自己負担				
				負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合			
北海道	1	913,203円												
北海道	2	703,051円												
北海道	3	427,944円												
北海道	4	4,227,736円												
		円												
		円												
合計		6,271,934円	4,142,934円	円	%	4,142,934円	100.0%	円	%	円	%			

(1) 記載要領

- 「補助ブロック名」の欄は、補助金交付要綱別表6(附則第3条の適用を受ける事業者にあつては別表28)の名称を記載すること。
- 乗合バス事業の収益、サービス提供時間については、高速バス及び定期観光バス等を除き、費用については、高速バス及び定期観光バス並びに補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)における補助金交付要綱第2編第1章第3節及び第5節に係る経常費用を除くこと。
- 補助対象事業者の決算期間が補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)と相違している事業者にあつては、補助対象期間の仮決算を行い、その損益状況を損益状況欄に記載すること。
- 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)中の乗合バス(自家用有償運送)事業と他の事業を兼業している場合の関連収益及び費用の配分は、原則として昭和52年5月17日付け自総第338号、自旅第151号、自貨第55号によること。
- 補助対象期間の前々年度の保有車両台数の欄は、事業者が保有する車両数でなく、生活交通確保維持改善計画に記載された運行系統を運行するにあつて必要な車両台数を記載すること。
- 申請番号は、系統ごとに一連番号とすること。なお、1系統が2つ以上の補助ブロックにまたがる場合は、その比率に応じ低い方をカッコ書きの番号とすること。
- 地域時間当たり標準経常費用は、補助ブロックを管轄する地方運輸局等が通知した数値によること。
- 計算上生じた単位未満の端数は切り捨てること。
- 「1回当たりサービス提供時間」(リ欄)については、【(1回あたり平均運行時間)+(1日あたり平均待機時間/1日あたり運行回数)】により算出すること。
- 「1回当たりサービス提供時間」、「補助ブロック外乗入部分に係るサービス提供時間」及び「市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出すること。また、合計の欄については、各申請系統のサービス提供時間の合計を記載すること。
- 「同一補助ブロック市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間」の欄は、同一補助ブロック内における市区町村外乗入部分に係るサービス提供時間を記載することとし、補助ブロックが異なる市区町村外乗入部分は(ヌ)に記載すること。
- 「補助ブロック外乗入部分及び市区町村外乗入部分以外のサービス提供時間の比率(ヲ)」については、%以下第3位(小数点第4位切り捨て)まで算出して記載すること。
- 「計画サービス提供時間」は、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで算出して記載すること。
- 「補助対象経費」の欄は、(ツ)の金額を記載する(千円未満の端数は切り捨てること)。
- 「補助対象経費の1/2」の欄は、系統ごとに百円単位(0.1~0.9千円)まで記載することとし、合計の千円未満の端数は切り捨てること。
- 「国庫補助上限額」の欄は、市区町村等が当該市区町村等に係る国庫補助上限額のうち、各事業者ごとに配分した額を記載すること。
- 「補助対象期間の前々年度の損益状況」の欄は、消費税相当額を控除した額を記載すること。
- サービス提供時間とは、事業開始時間(運行開始時間)から事業終了時間(運行終了時間)までの間をいい、その間の待機時間、回送時間、予約受付にかかる時間についても含める。なお、サービス提供時間外に行われる予約受付等については、補助対象外とする。
- 待機時間とは、サービス提供時間のうち、実運行しなかった時間をいう。但し、休憩時間及びその他事業に従事している時間は含めない。
- 回送時間について、乗客が降車した後、帰庫する際の回送運行は実運行時間として差し支えない。なお、回送運行中(帰庫途中)に乗用事業による配車指示があり乗用事業の運行を行った場合は、当該回送運行は実運行時間とは認められない。
- 複数系統を運行する車両(1台で3系統運行等)の待機時間については、明確に待機時間を算出することは困難である場合は、原則として、系統毎の計画サービス提供時間(ワ欄)を系統数の合計値で除す若しくは系統毎の運行回数に応じた算出方法により算出されたい。

(2) 添付書類

- 補助対象期間(補助金交付要綱第5条で定める期間)の前々年度に係る旅客自動車運送事業等報告規則第2条第2項の「事業報告書」(補助金交付要綱第2編第1章第3節に係る経常費用を除く)及びこれに関連する必要な事項を記載した書類

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	石狩市
------	-----

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	15,098
交通不便地域	3,603

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法
2,082	厚田区	過疎地域自立促進特別措置法
1,521	浜益区	過疎地域自立促進特別措置法

国庫補助上限額の算定

対象人口	算定式	国庫補助上限額
15,098	15098人×200+300万円=6019千円	6,019千円

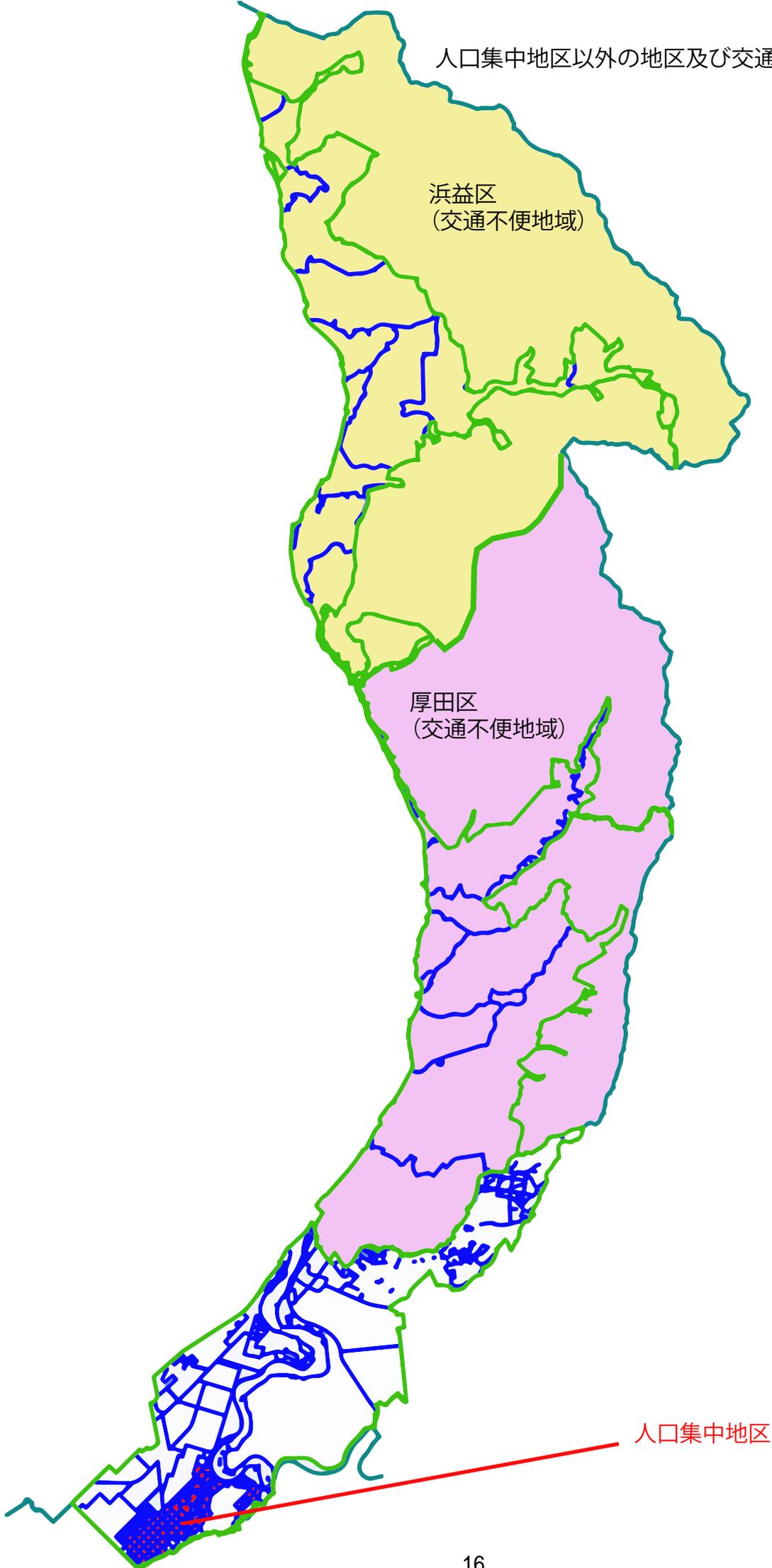
(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する事業年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
※なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域（過疎地域とみなされる市町村、過疎とみなされる区域を含む。）、離島振興法に基づく離島振興対策実施地域、半島振興法に基づく半島振興対策実施地域、山村振興法に基づく振興山村に該当する地域の人口及び実施要領（2.（1）⑫）に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2) 添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図
(ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可)

人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分図



サービス提供時間計算表

運行事業者：石狩市

月・本		※1 実運行時間は実運行時間+回送時間の合計。		※2 運行回数は、在庫回、片道0.5回、循環系統は運行回とする。	
運行系統名	S提供時間 開始 終了	所要 時間	1日当たり 実運行時間 【B】	1日当たり 待機時間 【C】	1日当たり サービス 提供時間 等 【A+ウ】
1 北方面	7:15	(250分)	生 2	(125.00分)	(370.0分)
	13:25	2.0	復 2	2.08時間	6.16時間
4 厚田方面	5:40	(270分)	往 3	(108.00分)	(480.0分)
	19:25	2.5	復 2	1.80時間	7.50時間
	13:45	4.50時間		3.00時間	

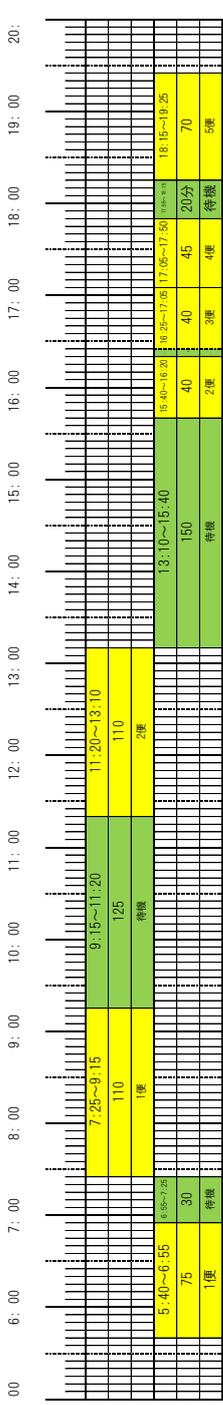
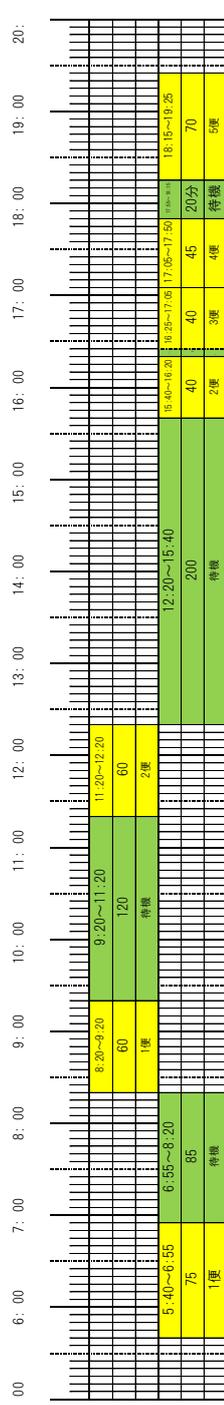
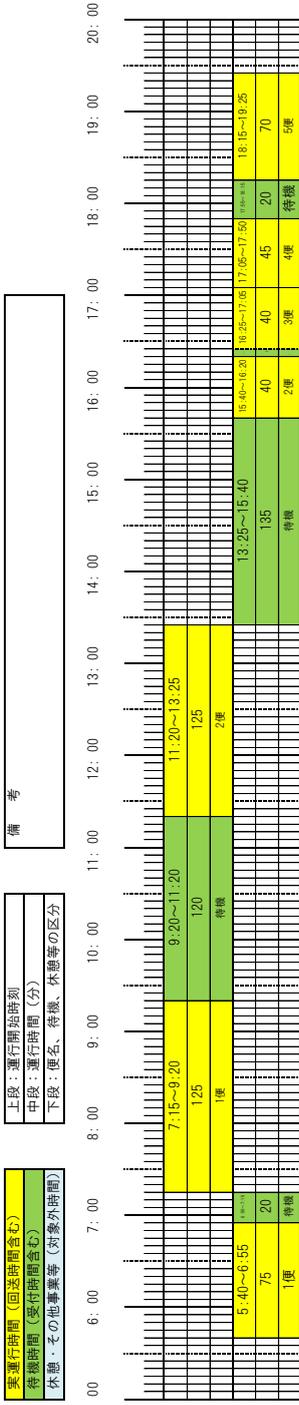
※ A, B, Cの数値を算定表に転記して下さい。

月・本		※1 実運行時間は実運行時間+回送時間の合計。		※2 運行回数は、在庫回、片道0.5回、循環系統は運行回とする。	
運行系統名	S提供時間 開始 終了	所要 時間	1日当たり 実運行時間 【B】	1日当たり 待機時間 【C】	1日当たり サービス 提供時間 等 【A+ウ】
1 南方面	8:20	(120分)	生 2.0	(60.00分)	(240.0分)
	12:20	2.0	復 2	2.00時間	4.00時間
2 厚田方面	5:40	(270分)	往 3	(108.00分)	(580.0分)
	19:25	2.5	復 2	1.80時間	9.60時間
	13:45	4.50時間		5.16時間	

※ A, B, Cの数値を算定表に転記して下さい。

月・本		※1 実運行時間は実運行時間+回送時間の合計。		※2 運行回数は、在庫回、片道0.5回、循環系統は運行回とする。	
運行系統名	S提供時間 開始 終了	所要 時間	1日当たり 実運行時間 【B】	1日当たり 待機時間 【C】	1日当たり サービス 提供時間 等 【A+ウ】
1 東方面	7:25	(220分)	生 2.0	(110.00分)	(345.0分)
	13:10	2.0	復 2	2.08時間	5.75時間
2 厚田方面	5:40	(270分)	往 3	(108.00分)	(475.0分)
	19:25	2.5	復 2	1.80時間	7.91時間
	13:45	4.50時間		3.41時間	

※ A, B, Cの数値を算定表に転記して下さい。



運行回数・サービス提供時間算定①

運行 系統	1回当たりサービス提供時間(リ)		計画運行回数(往復・循環)		計画サービス提供時間(ワ・チ)		実績運行回数		実績サービス提供時間(リ+ウ)		実績サービス提供時間(ウ・チ)		備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)
	4.3		H		I+J+V		K		94.0		V-W		
	4.3		H		I+J+V		K		94.0		V-W		
年月	曜日 区分	1回当たり (往復・循 環)実運行 時間 B	運行回数 A	1日当たり 待機時間 C	1日当たり 待機時間 D	実運行時間 E	実運行回数 F	運行回数 G	待機時間 H	実運行時間 I	実運行回数 J	待機時間 K	備考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
28年	4月	2.00	8	2.00	2.08	33.28	16.0	33.28	7.0	14.56	7.0	16.00	
	月曜日												
	木曜日												
	往復												
	循環												
	往復												
	循環												
	往復												
	循環												
小計			8	16.0	33.28	7.0	14.56	16.00	0.00	0.00	0.00	16.00	

運行 系統	1回当たりサービス提供時間(リ)		計画運行回数(往復・循環)		計画サービス提供時間(ワ・チ)		実績運行回数		実績サービス提供時間(リ+ウ)		実績サービス提供時間(ウ・チ)		備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)
	4.3		H		I+J+V		K		94.0		V-W		
	4.3		H		I+J+V		K		94.0		V-W		
年月	曜日 区分	1回当たり (往復・循 環)実運行 時間 B	運行回数 A	1日当たり 待機時間 C	1日当たり 待機時間 D	実運行時間 E	実運行回数 F	運行回数 G	待機時間 H	実運行時間 I	実運行回数 J	待機時間 K	備考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
28年	5月	2.00	8	2.00	2.08	33.28	16.0	33.28	7.0	14.56	7.0	16.00	
	月曜日												
	木曜日												
	往復												
	循環												
	往復												
	循環												
	往復												
	循環												
小計			8	16.0	33.28	7.0	14.56	16.00	0.00	0.00	0.00	16.00	

運行 系統	1回当たりサービス提供時間(リ)		計画運行回数(往復・循環)		計画サービス提供時間(ワ・チ)		実績運行回数		実績サービス提供時間(リ+ウ)		実績サービス提供時間(ウ・チ)		備考 (調整、増便、運休、補助対象外となった理由等)
	4.3		H		I+J+V		K		94.0		V-W		
	4.3		H		I+J+V		K		94.0		V-W		
年月	曜日 区分	1回当たり (往復・循 環)実運行 時間 B	運行回数 A	1日当たり 待機時間 C	1日当たり 待機時間 D	実運行時間 E	実運行回数 F	運行回数 G	待機時間 H	実運行時間 I	実運行回数 J	待機時間 K	備考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)
28年	6月	2.00	9	2.00	2.08	37.44	18.0	37.44	8.0	16.64	8.0	18.00	
	月曜日												
	木曜日												
	往復												
	循環												
	往復												
	循環												
	往復												
	循環												
小計			9	18.0	37.44	8.0	16.64	18.00	0.00	0.00	0.00	18.00	

運行回数・サービス提供時間算定表③

運行 系統	東方面												備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)				
	サービス提供時間計算表				計 画				実 績								
	1日当たり (往復・循環) 運行回数 A	1日当たり (往復・循環) 待機時間 B	1日当たり (往復・循環) 待機時間 C	1日当たり 運行回数 D	実運行時間 A×D=E	調整率 B×E=F	運行回数 E×G=H	待機時間 B×H=I	待機時間 C×D=J	運行回数 M	天災*2 N	実運行時間 E+L+M=O		補助対象外 (-)分/60 P	運休 B×M=R	天災 *2 B×N=S	待機時間 補正対象外 (-)分/60 T
28年 4月	往復 2	1.83	2.08	4	8.0	14.64	30.0%	3.0	5.49	8.32							8.32
小 計				4	8.0	14.64	3.0	5.49	8.32	0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	8.32

*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回
ただし、循環系統は1運行1回
*2 天災は、運休のうちやむを得ない理由のもの

年月	計 画												備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)				
	サービス提供時間計算表				実 績				実 績								
	1日当たり (往復・循環) 運行回数 A	1日当たり (往復・循環) 待機時間 B	1日当たり (往復・循環) 待機時間 C	1日当たり 運行回数 D	実運行時間 A×D=E	調整率 B×E=F	運行回数 E×G=H	待機時間 B×H=I	待機時間 C×D=J	運行回数 L	天災*2 N	実運行時間 E+L+M=O		補助対象外 (-)分/60 P	運休 B×M=R	天災 *2 B×N=S	待機時間 補正対象外 (-)分/60 T
28年 5月	往復 2	1.83	2.08	3	6.0	10.98	30.0%	2.0	3.66	6.24							6.24
小 計				3	6.0	10.98	2.0	3.66	6.24	0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	6.24

年月	計 画												備 考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)				
	サービス提供時間計算表				実 績				実 績								
	1日当たり (往復・循環) 運行回数 A	1日当たり (往復・循環) 待機時間 B	1日当たり (往復・循環) 待機時間 C	1日当たり 運行回数 D	実運行時間 A×D=E	調整率 B×E=F	運行回数 E×G=H	待機時間 B×H=I	待機時間 C×D=J	運行回数 L	天災*2 N	実運行時間 E+L+M=O		補助対象外 (-)分/60 P	運休 B×M=R	天災 *2 B×N=S	待機時間 補正対象外 (-)分/60 T
28年 6月	往復 2	1.83	2.08	5	10.0	18.30	30.0%	3.0	5.49	10.40							10.40
小 計				5	10.0	18.30	3.0	5.49	10.40	0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	10.40

運行回数・サービス提供時間算定表④

運行 系統	厚田方面										備考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)											
	サービス提供時間計算表					計画																
	1日当たり (往復・循環) 運行回数 A	1日当たり (往復・循環) 運行時間 B	1日当たり 待機時間 C	運行日数 D	実運行回数 *1 A×D=E	実運行時間 B×E=F	調整率 G	運行割合調整後の実運行時間 E×G=H	運行回数 B×H=I	待機時間 C×D=J		計画運行日数 D	計画運行回数 (往復・循環) H	計画サービス提供時間 (ワ・チ) I+J=V	1回当たりサービス 提供時間(リ) 4.3	実運行日数 K	実運行回数 0	実サービス提供時間(ル) 0+U=W	実運行割合(リ+ル)/(ウ)	実績	待機時間 補給対象外 (-)/分/60 T	J+T=U
28年	月曜日	往 3	1.80	3.00	8	36.00	62.0%	22.50	12.5	24.00	123.0	193.5	837.7	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	24.00	
	木曜日	往 2																				
	火曜日	往 3	1.80	5.16	8	36.00	62.0%	22.50	12.5	41.28											41.28	
	金曜日	往 2																				
	水曜日	往 3	1.80	3.41	4	18.00	62.0%	11.70	6.5	13.64											13.64	
	復 2																					
	往 復 往 復 往 復 往 復																					
小計					20	90.00		31.5	31.5	78.92	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	78.92	

*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回
ただし、循環系統は1運行1回
*2 玉彩線は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行 系統	厚田方面										備考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)											
	サービス提供時間計算表					計画																
	1日当たり (往復・循環) 運行回数 A	1日当たり (往復・循環) 運行時間 B	1日当たり 待機時間 C	運行日数 D	実運行回数 *1 A×D=E	実運行時間 B×E=F	調整率 G	運行割合調整後の実運行時間 E×G=H	運行回数 B×H=I	待機時間 C×D=J		計画運行日数 D	計画運行回数 (往復・循環) H	計画サービス提供時間 (ワ・チ) I+J=V	1回当たりサービス 提供時間(リ) 4.3	実運行日数 K	実運行回数 0	実サービス提供時間(ル) 0+U=W	実運行割合(リ+ル)/(ウ)	実績	待機時間 補給対象外 (-)/分/60 T	J+T=U
28年	月曜日	往 3	1.80	3.00	8	36.00	62.0%	22.50	12.5	24.00												
	木曜日	往 2																				
	火曜日	往 3	1.80	5.16	8	36.00	62.0%	22.50	12.5	41.28											41.28	
	金曜日	往 2																				
	水曜日	往 3	1.80	3.41	3	13.50	62.0%	9.00	5.0	10.23											10.23	
	復 2																					
	往 復 往 復 往 復 往 復																					
小計					19	85.50		30.0	30.0	75.51	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	75.51	

運行 系統	厚田方面										備考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)											
	サービス提供時間計算表					計画																
	1日当たり (往復・循環) 運行回数 A	1日当たり (往復・循環) 運行時間 B	1日当たり 待機時間 C	運行日数 D	実運行回数 *1 A×D=E	実運行時間 B×E=F	調整率 G	運行割合調整後の実運行時間 E×G=H	運行回数 B×H=I	待機時間 C×D=J		計画運行日数 D	計画運行回数 (往復・循環) H	計画サービス提供時間 (ワ・チ) I+J=V	1回当たりサービス 提供時間(リ) 4.3	実運行日数 K	実運行回数 0	実サービス提供時間(ル) 0+U=W	実運行割合(リ+ル)/(ウ)	実績	待機時間 補給対象外 (-)/分/60 T	J+T=U
28年	月曜日	往 3	1.80	3.00	9	40.50	62.0%	25.20	14.0	27.00												
	木曜日	往 2																				
	火曜日	往 3	1.80	5.16	8	36.00	62.0%	22.50	12.5	41.28											41.28	
	金曜日	往 2																				
	水曜日	往 3	1.80	3.41	5	22.50	62.0%	14.40	8.0	17.05											17.05	
	復 2																					
	往 復 往 復 往 復 往 復																					
小計					22	99.00		34.5	34.5	85.33	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	85.33	

運行回数・サービス提供時間算定表②

運行 系統	南方面										
	サービス提供時間計算表					計画					
	1回当たり 運行回数 A	1回当たり (在復・循 環)実運行 時間 B	1回当たり 待機時間 C	1回当たり サービス 提供時間(リ) 3.6	計画運行回数 D	計画サービス提供時間(フ・チ) I+J+V	調整率 G	調整後の実運行回数 E×G=H	調整後の実運行時間 B×H=I	調整後の待機時間 C×D=J	調整後のサービス提供時間(リ) 76.0
28年 10月	往復 2	1.00	2.00	3.6	100.0	76.0	35.0%	6.0	6.00	16.00	76.0
曜日 区分	運行回数 A	1回当たり 実運行時間 *1 B×E=F	1回当たり 待機時間 C	1回当たり サービス 提供時間(リ) 3.6	計画運行回数 D	計画サービス提供時間(フ・チ) I+J+V	調整率 G	調整後の実運行回数 E×G=H	調整後の実運行時間 B×H=I	調整後の待機時間 C×D=J	調整後のサービス提供時間(リ) 76.0
実 績	運行回数 L	実運行時間 *1 E+L+M=0	待機時間 K	実績運行回数 K	実績サービス提供時間(リ) 0+U+W	調整率 M	調整後の実運行回数 L	調整後の実運行時間 B×O+P=0	調整後の待機時間 J+T=U	調整後のサービス提供時間(リ) 72.46	
小計	8	16.0	6.0	16.00	6.0	6.00	0.0	0.00	0.00	16.00	0.00

*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回
ただし、循環系統は1運行1回
*2 天災は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行 系統	南方面										
	サービス提供時間計算表					計画					
	1回当たり 運行回数 A	1回当たり (在復・循 環)実運行 時間 B	1回当たり 待機時間 C	1回当たり サービス 提供時間(リ) 3.6	計画運行回数 D	計画サービス提供時間(フ・チ) I+J+V	調整率 G	調整後の実運行回数 E×G=H	調整後の実運行時間 B×H=I	調整後の待機時間 C×D=J	調整後のサービス提供時間(リ) 76.0
28年 11月	往復 2	1.00	2.00	3.6	100.0	76.0	35.0%	7.0	7.00	18.00	76.0
曜日 区分	運行回数 A	1回当たり 実運行時間 *1 B×E=F	1回当たり 待機時間 C	1回当たり サービス 提供時間(リ) 3.6	計画運行回数 D	計画サービス提供時間(フ・チ) I+J+V	調整率 G	調整後の実運行回数 E×G=H	調整後の実運行時間 B×H=I	調整後の待機時間 C×D=J	調整後のサービス提供時間(リ) 76.0
実 績	運行回数 L	実運行時間 *1 E+L+M=0	待機時間 K	実績運行回数 K	実績サービス提供時間(リ) 0+U+W	調整率 M	調整後の実運行回数 L	調整後の実運行時間 B×O+P=0	調整後の待機時間 J+T=U	調整後のサービス提供時間(リ) 18.00	
小計	9	18.0	7.0	18.00	7.0	7.00	0.0	0.00	0.00	18.00	0.00

運行 系統	南方面										
	サービス提供時間計算表					計画					
	1回当たり 運行回数 A	1回当たり (在復・循 環)実運行 時間 B	1回当たり 待機時間 C	1回当たり サービス 提供時間(リ) 3.6	計画運行回数 D	計画サービス提供時間(フ・チ) I+J+V	調整率 G	調整後の実運行回数 E×G=H	調整後の実運行時間 B×H=I	調整後の待機時間 C×D=J	調整後のサービス提供時間(リ) 76.0
28年 12月	往復 2	1.00	2.00	3.6	100.0	76.0	35.0%	5.0	5.00	14.00	76.0
曜日 区分	運行回数 A	1回当たり 実運行時間 *1 B×E=F	1回当たり 待機時間 C	1回当たり サービス 提供時間(リ) 3.6	計画運行回数 D	計画サービス提供時間(フ・チ) I+J+V	調整率 G	調整後の実運行回数 E×G=H	調整後の実運行時間 B×H=I	調整後の待機時間 C×D=J	調整後のサービス提供時間(リ) 76.0
実 績	運行回数 L	実運行時間 *1 E+L+M=0	待機時間 K	実績運行回数 K	実績サービス提供時間(リ) 0+U+W	調整率 M	調整後の実運行回数 L	調整後の実運行時間 B×O+P=0	調整後の待機時間 J+T=U	調整後のサービス提供時間(リ) 14.00	
小計	7	14.0	5.0	14.00	5.0	5.00	0.0	0.00	0.00	14.00	0.00

*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回
ただし、循環系統は1運行1回
*2 天災は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行回数・サービス提供時間算定表①

運行 系統	1回当たりサービス提供時間(リ)		計画運行回数(往復・循環)		計画サービス提供時間(ワ・チ)		実績運行回数		実績サービス提供時間(リ+ウ)		実績サービス提供時間(ワ・チ)		備考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)	
	4.3		H		I+J+V		K		188.0		V-W			
	1日当たり (往復・循 環)実運行 時間	1日当たり 待機時間	調整%	運行回数	待機時間	調整%	運行回数	増便回数 L	運行回数 M	天災*2 N	実運行時間 E+L+M=0	運休時間 B×M=R		天災 *2 B×N=S
29年 10月	2.08	2.00	6	7.0	14.56	40.0%	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.00
小計				7.0	14.56		7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.00

*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回
ただし、循環系統は1運行1回
*2 天災は、運休のうちやむを得な
い理由のもの

運行 系統	1回当たりサービス提供時間(リ)		計画運行回数(往復・循環)		計画サービス提供時間(ワ・チ)		実績運行回数		実績サービス提供時間(リ+ウ)		実績サービス提供時間(ワ・チ)		備考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)	
	4.3		H		I+J+V		K		188.0		V-W			
	1日当たり (往復・循 環)実運行 時間	1日当たり 待機時間	調整%	運行回数	待機時間	調整%	運行回数	増便回数 L	運行回数 M	天災*2 N	実運行時間 E+L+M=0	運休時間 B×M=R		天災 *2 B×N=S
29年 11月	2.08	2.00	6	7.0	14.56	40.0%	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.00
小計				7.0	14.56		7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.00

運行 系統	1回当たりサービス提供時間(リ)		計画運行回数(往復・循環)		計画サービス提供時間(ワ・チ)		実績運行回数		実績サービス提供時間(リ+ウ)		実績サービス提供時間(ワ・チ)		備考 (調整、増便、運休、補助 対象外となった理由等)	
	4.3		H		I+J+V		K		188.0		V-W			
	1日当たり (往復・循 環)実運行 時間	1日当たり 待機時間	調整%	運行回数	待機時間	調整%	運行回数	増便回数 L	運行回数 M	天災*2 N	実運行時間 E+L+M=0	運休時間 B×M=R		天災 *2 B×N=S
29年 12月	2.08	2.00	6	7.0	14.56	40.0%	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.00
小計				7.0	14.56		7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.00

運行回数・サービス提供時間算定表②

運行 系統	南方面										
	サービス提供時間計算表					計画					
	1回当たり (往復・循環) 運行回数 A	1回当たり (往復・循環) 待機時間 B	1回当たり (往復・循環) 待機時間 C	1回当たり 運行回数 D	1回当たり 提供時間(リ) 3.6	計画運行回数 D	計画運行回数 (往復・循環) H	計画サービス提供時間 (ワ・チ) I+J+V	実績運行回数 K	実績サービス提供時間 (リ) 0+U+W	実績 200.0
29年 10月	往復 2	1.00	2.00	9	18.0	18.00	7.0	7.00	0	0.0	76.0
曜日 区分	往復 2	1.00	2.00	9	18.0	18.00	7.0	7.00	0	0.0	76.0
火曜日	往復 2	1.00	2.00	9	18.0	18.00	7.0	7.00	0	0.0	76.0
金曜日	往復 2	1.00	2.00	9	18.0	18.00	7.0	7.00	0	0.0	76.0
小計				9	18.0	18.00	7.0	7.00	0	0.0	76.0

*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回
ただし、循環系統は1運行1回
*2 天災は、運行の立ちやむを得ない理由のもの

運行 系統	南方面										
	サービス提供時間計算表					計画					
	1回当たり (往復・循環) 運行回数 A	1回当たり (往復・循環) 待機時間 B	1回当たり (往復・循環) 待機時間 C	1回当たり 運行回数 D	1回当たり 提供時間(リ) 3.6	計画運行回数 D	計画運行回数 (往復・循環) H	計画サービス提供時間 (ワ・チ) I+J+V	実績運行回数 K	実績サービス提供時間 (リ) 0+U+W	実績 200.0
29年 11月	往復 2	1.00	2.00	7	14.0	14.00	5.0	5.00	0	0.0	14.00
曜日 区分	往復 2	1.00	2.00	7	14.0	14.00	5.0	5.00	0	0.0	14.00
火曜日	往復 2	1.00	2.00	7	14.0	14.00	5.0	5.00	0	0.0	14.00
金曜日	往復 2	1.00	2.00	7	14.0	14.00	5.0	5.00	0	0.0	14.00
小計				7	14.0	14.00	5.0	5.00	0	0.0	14.00

運行 系統	南方面										
	サービス提供時間計算表					計画					
	1回当たり (往復・循環) 運行回数 A	1回当たり (往復・循環) 待機時間 B	1回当たり (往復・循環) 待機時間 C	1回当たり 運行回数 D	1回当たり 提供時間(リ) 3.6	計画運行回数 D	計画運行回数 (往復・循環) H	計画サービス提供時間 (ワ・チ) I+J+V	実績運行回数 K	実績サービス提供時間 (リ) 0+U+W	実績 200.0
29年 12月	往復 2	1.00	2.00	8	16.0	16.00	6.0	6.00	0	0.0	16.00
曜日 区分	往復 2	1.00	2.00	8	16.0	16.00	6.0	6.00	0	0.0	16.00
火曜日	往復 2	1.00	2.00	8	16.0	16.00	6.0	6.00	0	0.0	16.00
金曜日	往復 2	1.00	2.00	8	16.0	16.00	6.0	6.00	0	0.0	16.00
小計				8	16.0	16.00	6.0	6.00	0	0.0	16.00

● 浜益予約運行型時刻表（予約があった場合のみ運行します。）
 ※時間は目安で、希望到着時間・到着場所・経由地に応じ前後します。

	月		火		水		木		金	
	北方面		東方面		南方面		厚田方面		参考	
5:30	雄冬 幌	5:40 6:00	雄冬 幌	5:40 6:00	雄冬 幌	5:40 6:00	雄冬 幌	5:40 6:00	参考 札幌方面幹線バス	参考 浜益方面幹線バス
6:00										
6:30	厚田支所	6:55	厚田支所	6:55	厚田支所	6:55	厚田支所	6:55	中央バス札幌浜益線 幌 6:15発 厚田支所 7:01発 札幌ターミナル8:33着	厚田支所 8:17着
7:00										
7:30	厚田支所	7:15	厚田支所	7:25	厚田支所	7:15	厚田支所	7:15		
8:00	浜益 浜益	8:00 8:05	浜益 浜益	8:10	浜益	8:00 8:05	浜益 浜益	8:00 8:05		
8:30	雄冬 浜益 浜益 浜益温泉	8:40 9:15 9:15 9:22	雄冬 浜益 浜益 浜益温泉	8:25 8:35 9:05	柏木 浜益温泉 浜益	8:40 9:15 9:15 9:22	雄冬 浜益 浜益 浜益温泉	8:20 8:35 9:15 9:15 9:22	沿岸バス はぼろ号 本社ターミナル6:20発 雄冬 8:10発 柏木 8:30発 厚田支所 8:58発 札幌ターミナル10:10着	中央バス札幌厚田線 札幌ターミナル6:45発 厚田支所 8:17着
9:00										
9:30										
10:00										
10:30										
11:00	浜益温泉 浜益	11:20 11:27	浜益温泉 浜益	11:20 11:27	浜益 浜益温泉	11:20 11:27	浜益温泉 浜益	11:20 11:27		
11:30										
12:00	雄冬 雄冬	12:02 12:05	雄冬 雄冬	11:39	美田橋	12:02 12:05	雄冬 雄冬	12:02 12:05		
12:30										
13:00	厚田支所	13:25	厚田支所	13:00	厚田支所	13:30	厚田支所	13:30	中央バス札幌厚田線 厚田支所 14:10発 札幌ターミナル15:47着	
13:30										
14:00										

		北方面		南方面			
		東方面		厚田方面			
	月	火	水	木	金	参考 札幌方面幹線バス	参考 浜益方面幹線バス
14:30							
15:00							
15:30	浜益中学校 15:40		中央バス札幌厚田線 札幌ターミナル14:40発 厚田支所 16:12着				
16:00	厚田中学校 16:20		沿岸バスはぼろ号 札幌ターミナル16:10発 厚田支所 17:13着 浜益 17:43着 雄冬 18:02着				
16:30	厚田支所 16:25						
17:00	浜益支所 17:05						
17:30	浜益支所 17:05	浜益支所 17:05	浜益支所 17:10	浜益支所 17:05	浜益支所 17:05	中央バス札幌厚田線 厚田支所 17:55発 札幌ターミナル19:26着	
18:00	厚田支所 17:50						
18:30	厚田支所 18:15		中央バス札幌浜益線 札幌ターミナル16:45発 厚田支所 18:11着 幌 19:01着				
19:00	浜益支所 18:50						
	雄冬 19:25						